

ごみの種別分別を 必ずして出しましょう

☆ごみの減量にご協力ください☆

出てきたごみを資源として出しリサイクルすることはもちろん重要ですが、それだけではごみの総量は減りません。私たち一人ひとりが現在の生活様式を見直し、その総量を減らす工夫を基本に考え、すぐにごみになってしまうものを家庭に持ち込まないよう、考えながら買物をしていきましょう。

☆買い物袋（マイバッグ）を持参する。

買い物でもらえるレジ袋もたまるごみになります。買い物の際には買い物袋（マイバッグ）を持参すると、レジ袋はいりません。小物や量が少ない買い物の際にもレジ袋はもらわないようにしましょう。

中くらいのレジ袋1枚で約10グラムのごみの減量につながります。

☆簡易包装の商品を選ぶ

商品を何重にも包装しているものは見た目には丁寧ですが、商品を取り出せばすぐにごみになります。簡易包装の商品を選び余分なごみを出さないようにしましょう。

☆自分で使う商品は、 unnecessary 包装は断りましょう。

☆詰め替え商品を選ぶ

シャンプーや洗剤などは使い終わったら1回でごみになる使い捨て容器の商品や詰め替え商品のあるものを購入しましょう。

☆必要なものだけ買う

すぐに飽きてしまわないか、他のもので代用できないか、余分に買いすぎているのか、本当に買う必要があるかを考えて購入しましょう。

お問い合わせ先

町民環境課 河中 電話 (08668) 54-2684

混ぜればごみ、分ければ資源!!
すてればごみ、使えば資源!!
ごみを作らない、ださない。

ごみの減量化とリサイクル、
資源化にご協力をお願いします。

毎月10日はノーレジ袋デー（マイバッグ持参推進日）!!
マイバッグは持ち歩いて、いつでも使えるように!!
マイバッグはレジを通してから使いましょう!!

レジ袋の削減はごみを減らす
ための取り組みのひとつです。

消費者情報 ②

介護ベッドでの重大事故にご注意

最近、介護ベッド用手すりで、外側に開いたグリップの内側に利用者の頭が入り、重傷を負う事故を始め、骨折・重体・死亡といった重大事故が多発しています。

平成19年5月14日から平成22年9月24日の3年3カ月の間に、手すりのすき間に頭や首、手足などを挟む事故が消費者庁に37件通知がありました。事故の程度は、死亡15件、重傷22件という重篤なものばかりでした。

多い事故は、1位・サイドレールの中に頭、腕や足が入り重傷・死亡した事故、2位・ベッド本体と他の物とのすき間に挟まれた事故、3位・サイドレールとサイドレールのすき間に首が挟まり重傷・死亡した事故、の順になっています。

介護ベッド上で予測できない行動をとる可能性がある利用者や、自力で危ない状態から回避することができない利用者には、介護する人が、メーカーが配布する簡易部品を入手されるなどして、すき間を埋めることで事故を防止するための工夫をして下さい。

メーカーに連絡を取るのおおっくうな方は、すき間にクッションを入れたりサイドレールにカバーをかけたたりして事故を防ぎましょう。

お問い合わせ先

町民環境課 本山 電話 (08668) 54-2684